

外部サプライヤー管理 義務

データプライバシー

管理対象	管理内容	管理説明
1. 説明責任	サプライヤーは、適用法および契約上の義務に準拠した対策（データ保護の影響評価、処理の記録など）を実施し、定期的に見直しを行っていることを証明できなければなりません。	説明責任とは、組織がデータ保護およびプライバシー法を遵守していることを証明することを求める GDPR のデータ保護原則です。
2. スタッフの意識向上、トレーニング、雇用契約	サプライヤーは、Barclays のデータにアクセスするすべてのスタッフ（フルタイム、パートタイムを問わず、短期間雇用者、請負業者、コンサルタントなどを含む）がデータプライバシー/情報セキュリティ要件を遵守するため、適切なトレーニングを受け、勤務時間外および雇用終了後も拘束力のある契約を締結していることを保証するものとします。	サプライヤーは、スタッフが信頼に値することを証明し、データの機密性を尊重するための措置を講じていることを示すことができる必要があります。
3. Barclays のデータ収集および処理、ならびに Barclays の個人データの処理の変更	Barclays の個人データの収集および処理は、提供された目的が明示的に示されたものに対してのみ、法的および契約上の義務に適合する方法で実施されます。	個人データの収集（該当する場合）を含むすべての処理は、公正かつ適法でなければなりません。
4. 個人データへのアクセス	サプライヤーは、Barclays の個人データへのアクセスが適切に管理され、サービスを提供するためにアクセスを必要とする者に限定されていることを保証するものとします。	アクセスを規制することにより、データの機密性およびセキュリティが保たれます。
5. セキュリティ	個人データは、偶発的または故意による不正な開示、悪用、または紛失から保護されています。	データセキュリティは、情報セキュリティリスクの評価および適切な管理が必要とされるデータ保護とプライバシーに関する法律で定められている基本的な原則です。
6. データ転送および法的管轄区	サプライヤーは、Barclays がすべての転送について事前に通知を受け、サービスを提供する法的管轄区の情報、および Barclays、その下請業者、または復処理者が Barclays の個人データを処理するその他の法的管轄区の情報に常に知らされていることを保証するものとします。	欧州およびその他の地域の個人情報保護法の中には、個人データの転送に関する規定が含まれているものもあります。
7. 下請け業者のデューデリジェンス	サプライヤーは、Barclays に Barclays の個人情報にアクセスする可能性のあるサー	Barclays はサプライヤーと連携します。サプライヤー

	<p>ビス提供に携わる下請業者または復処理者について情報を提供し、それらの業者への適切なデューデリジェンスチェックの実施を確認し、その信頼性、およびデータの安全性を維持するための事務的、物理的、技術的管理が適切であることを保証するものとします。</p>	<p>は、自身が委託する下請業者の行動に責任を負うものとします。</p>
--	--	--------------------------------------